

運輸多目的衛星新1号機(MTSAT-1R)の打ち上げ遅延について

航空局
気象庁

1. MTSAT-1Rの打ち上げ遅延について

MTSAT-1Rについては、平成12年3月、米国の衛星メーカーと製造契約を締結し、宇宙開発事業団のH-Aロケットを打ち上げ予定機として、平成15年3月末までの打ち上げに向けた諸準備を進めてきました。

しかしながら、MTSAT-1Rの製造工程に遅れが生じていることから、その打ち上げは、平成15年夏に遅れる見込みです。

2. 打ち上げ遅延に対する措置

気象庁では、現行の静止気象衛星ひまわり5号を慎重に運用管理するほか、日々の天気予報業務や台風・集中豪雨の観測に支障が生じないように、米国の極軌道気象衛星(NOAA)を活用した日本付近の雲画像解析を行います。

さらに、外国の静止気象衛星を活用して、ひまわり5号と同レベルの画像を取得する可能性について検討します。

航空ミッションについても、衛星を利用した航空管制システムの早期導入が求められているところであり、平成15年夏の出来るだけ早期のMTSAT-1Rの打ち上げを目指すこととします。